

令和3年度 地域の素材を巡る

「まるごと三笠」

令和3年8月4日【水】

市内教職員の地域研修として地域素材
巡り「まるごと三笠」を実施しました。

公民館を出発し、幌内変電所の内部で、
ジオパーク事務局長と保存に長年尽力され
ている伊佐治様から歴史と今日までの経過
について説明いただきました。音羽坑まで
の予定でしたが、虫の大発生により予定を
変更し、変電所の内部に展示されている写
真や道具により大正8年に建設された状況
について詳しく学ぶことができました。



次に「桂沢ダム原石山」に
移動し、掘り出された石と
コンクリートを混ぜてダム
工事が進められた地層の大
きな崖を見学しました。ダ
ム工事は周辺の道路整備へ
と進み、ダムの果たす役割
等を学びながら嵩上げされ
た工事状況を確認するこ
うことができました。



嵩上げ部分との境界線





昼食は幾春別にあるジオパーク休憩所にて、三笠地域おこし隊の「出張料理」を準備していただきました。

その後、野外博物館エリアへと移動。石炭と人間のかかわりについて大地の変化を学びました。



北海道内で最も古い旧幾春別炭鉱錦立坑櫓の内部も見学できました。また「地層タイムスリップ」と称して幾春別層と三笠層をまたぐと 5000 万年の時間を飛び越える場所もあり力強い大地の動きを実際に学ぶことができました。最後に博物館内部で展示されているアンモナイト等を中心に研修を深め終了しました。



三笠の特徴的な施設を巡り、地域科など今後の教科指導に活用できる内容であったという感想をいただきました。ご協力くださいました関係の皆様ありがとうございました。今後も三笠市を深く理解できる研修となりますよう工夫して実施したいと考えております。

〔三笠市教育研究所〕